

食品防御セミナーの結果概要

2013年12月末に発生した冷凍食品農薬混入事件を受け、食品防御について、会員の理解を深めることを目的に東京及び大阪で食品防御セミナーを開催しました。

I. 日時、会場、参加者数

	東京会場	大阪会場
日時	2014年6月2日(月) 13:30～17:00	2014年6月25日(水) 13:00～16:30
会場	ベルサール八重洲 ROOM2+3	大阪国際会議場 会議室 1008
参加者数	93名(内、報道関係者10名)	67名

II. 講習会プログラム

タイトル	講師及び挨拶者
1. 「食品防御の現状と対策－食品防御のための推奨項目－」	東京会場：公益社団法人 日本食品衛生協会 専務理事 高谷 幸
	大阪会場：公立大学法人 奈良県立医科大学 健康政策医学講座 准教授 赤羽 学
2. 「農薬混入事件を契機に消費者が企業に望むこと」	東京及び大阪会場： 一般社団法人 Food Communication Compass 森田 満樹

III. 講演内容

「食品防御の現状と対策 － 食品防御のための推奨項目 －」について

1. はじめに
2. 食品防御に関する潮流（食品安全と食品防除の関係や比較など）
3. 各国の対策状況と国内での食品防御の必要性
4. 食品防御に関するリスク評価について
(CARVER+Shock法を用いた評価、ガイドラインの紹介など)
5. アクリフーズ農薬混入事件から学ぶこと
6. 最近の研究紹介（食品市販後調査の可能性）

「農薬混入事件を契機に消費者が企業に望むこと」について

1. 消費者からみた農薬混入事件の経緯
2. 第三者検証委員会の中間報告・最終報告
3. 食品事業者、関係業界の取り組み
4. 消費者に伝えたいこと

IV. 講演の様子

<東京会場>



<大阪会場>



東京会場、大阪会場共に、約 50 社の協会会員が参加しました。
皆さん熱心に受講され、質疑応答も行いました。

なお、セミナー内容の概要については、「冷凍食品情報」に掲載しますが、講習会資料
をご希望の会員は、協会の品質・技術部（TEL：03-3541-3003）までご連絡下さい。

以上